

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	文章理解の基礎	渡邊 淳子	1 年次	春・秋

授業のキーワード	主題 段落 言葉の味わい
授業の概要	文章理解の第一歩である文章全体の主旨を的確に把握できるようにします。その上で筆者がなぜその言葉を用いたのかという点まで関心を持てるようにし、文章全体のニュアンスや味わいを読み取れることを目指します。授業は比較的読み易いものから、徐々に内容の複雑なものへとレベルを上げながら、例文を読み解く方法で進めます。
期待される学習成果（目標）	1.文章を通して筆者が主張する主旨を的確に読み取ることができる。 2.文章に表現された言葉のニュアンスや文脈の内側に込められた表現の贅（ひだ）を深読み込む能力を磨くことができる。 3.文章の要約を的確にできる。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	導入	この授業の目的を説明し、受講者各自の現在の文章理解力を解説します。	第9講	文章内容の的確な把握その1	練習問題を用いて本文とその要約文の内容が合致しているかどうか、細かに検討する練習をします。
第2講	句読点と文意	句読点の打ち方次第でどれだけ文意が変わり、またリズムが生まれるか例文で学習します。	第10講	文章内容の的確な把握その2	練習問題を用いて本文とその要約文の内容が合致しているかどうか、細かに検討する練習をします。
第3講	言葉と表現	言葉の使い方次第でどのくらい多様な表現が可能か学習します。	第11講	キーワードを読む	文章中のキーワードの具体的な内容を読む練習をします。
第4講	言葉と表現	いくつかの同意語を用いてそれにふさわしい情景を各自文章化してみます。	第12講	文章中のキーセンテンスを読む	文章中のキーセンテンスを把握し、その具体的な内容を読む練習をします。
第5講	小説の表現を読み味わう	小説を教材にして、論説文とは異なる、凝縮された言葉の世界を深く読み味わう練習をします。	第13講	筆者の主張の吟味 その1	例文を用いて、筆者の主張の妥当性を検討し、文章を客観的に、批評的に読む練習をします。
第6講	文章構成	文章の構成を学び、いくつかの例文で段落整序の練習をします。	第14講	筆者の主張の吟味 その2	例文を用いて、筆者の主張の妥当性を検討し、文章を客観的に、批評的に読む練習をします。
第7講	主旨の把握その1	短いコラムを用いて主旨を的確に読み取る練習をします。	第15講	まとめ	半期で学習したことを踏まえて、例文を深く読み味わう練習をします。
第8講	主旨の把握その2	やや長い論説文を用いて主旨を的確に読み取れる練習をします。	定期試験		ペーパーテストを行います。
評価方法		出席状況・授業態度、提出物20% 試験80%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
			○ 谷沢栄一著『人間通になる読書術』（PHP 新書） ○ 池内紀著『読書見本帖』（丸善ライブラリー） ○ 辰野和男著『文章の書き方』（岩波新書）		